

海の散歩に出かけませんか?

今や対馬のマリンレジャーに欠かせなくなったシーカヤック。屋久島や奄美大島など有名どころに負けないフィールドが対馬にあることをご存じですか? 「迷路のように入り組んだ浅茅湾」「古代の風景がそのまま残るタイムスリップの旅」「希少な動植物との出会い」など、対馬のシーカヤックは「海拔ゼロメートルからの眺め」だけじゃない醍醐味にあふれています。

今回の『対馬で生きる 対馬をつなぐ』は、これからベストシーズンを迎えるシーカヤックの魅力をご紹介します。

シーカヤックフェスタ2013

7月14日、シーカヤックの魅力に触れてもらおうと、「シーカヤックフェスタ2013」が開催されました。2005年のシーカヤックマラソンを皮切りにスタートしたこのイベント。今年は美津島町のグリーンピアを会場に浅茅湾内のコースに挑戦。遠くは東京、韓国からの参加もありました。



波がゆらゆら揺れるのが面白かった！またやってみたい！



松尾 博愛さん・元愛くん親子

対馬に住んで4年目。初めてシーカヤックを体験しました。水面とカヤックの距離が近いのにびっくり、浅茅湾の大自然を満喫できました。

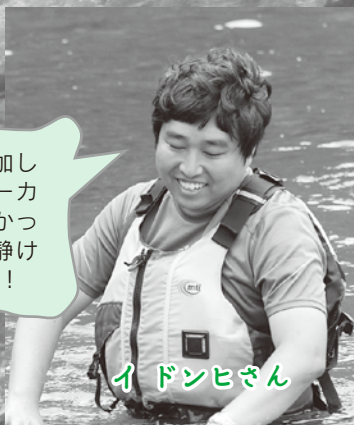
松尾一成さん・友樹さん兄弟



父が転勤で対馬にいるので、気に入って時々遊びにきています。自力で漕ぎ進むのが楽しいですね。東京のビルの中で暮らしていると広々とした大自然と開放感がとても新鮮です。
(一成さん)

カヤックから見る風景は、人工的な物が全くないのが魅力ですね。心が洗われます。
(友樹さん)

韓国ソウルから参加しました。初めてのシーカヤックは風が心地よかったですね。大自然と静けさがこの島の魅力です！



イ ドンヒさん



坊 貴至さん(写真左)

福岡在住の5人組で参加しました。私は海のない岐阜で育ったので、カヤックの横をトビウオがはねたり、頭上をアオサギが通過したりする度に興奮しました。海底も見えますですね。

対馬は最高のシーカヤックフィールド



上野 芳喜さん

エコツアーガイド兼バーのマスター

東京暮らしなどを経て約20年前にUターン。たまたまテレビで見たカヤックに惹かれ趣味で友人らとツーリングを始める。2003年に(有)対馬エコツアーを立ち上げ、浅茅湾をフィールドに大自然と歴史が融合したシーカヤックツアーを展開する傍ら、海岸漂着ゴミ問題にも取り組む。8月4日に行われた「対馬厳原港まつり」で初披露された「そびき唄」の作者でもある。

浅茅湾は最高のフィールド

湖のように波が穏やかで、子どもから年配の方まで経験がなくてもすぐに楽しめます。360度の大パノラマには人工の建造物が全く見えないポイントがあり、金田城からは1300年前に防人が見たのと同じ風景を見渡せます。湾内には数多くの

無人島があり、そこでご飯を食べたりシユノーケリングを楽しんだりとおブションも楽しめます。複雑な入り江は「その先はどうなってるの?」という想像力を膨らませてくれます。

「わざわざ」に見合う面白さを

何気ないことが喜ばれるんですよ。例えば平べったい石で水を切ったり、蜂胴があれば二ホンミツバチの話をしたり、無人島で食べる「ろくべえ」の出汁は対馬のシイタケからとったり、味付きたきイカを出したり…。

お客さんに「対馬って面白い」って言わせるにはどうしたら?って。ずっとその事を考え続けてきました。実は私、根っからのアウトドア人間じゃないんですよ(笑)。でもお客さんの「えー!!」が面白くて。そこを伝えるには自分にとってシーカヤックが一番の方法だったんだなって思ってます。もっと観光客に来てもらうには、高い交通費に見合った中身をアピールしなければなりません。

あたりまえを「特別」に

変えた観光客の一言

金田城城壁を見たドイツの考古学

者は「シーカヤックでこんな風景を見れるところなんて、そうそうない」と言いました。

鋸割岩に一人漕ぎだした観光客は「夢みたいなのと時だった。たった一人で海の上にいるなんて人生で初めて」と。その後、彼は何度も対馬を訪れました。

テーマパークでカヤックをしたという人は「デイズニースーでカヤックをしたことはあるけど、ここは本物のテーマパークですね!」って。その時は確か、絶滅危惧種のミサゴが頭上に現れましたね。

本当は対馬の学生に

乗ってほしい!

中学生や高校生に対馬を出る前に乗ってほしいですね。そして「対馬には面白いものがある」「浅茅湾って面白い」と周囲の人に広める『接着剤』になってもうえたら嬉しい。メディアにとりあげられるより、人から人に伝えてもらって対馬の魅力を広げてほしいですね。

★シーカヤック問い合わせ

(有) 対馬エコツアー

☎0920 (54) 3595

対馬カヤックス

☎0920 (54) 4329



非日常の極み!!
無人島で食べるわっぱ弁当とろくべえ
ランチは上野さんの手作り



断崖絶壁の鋸割岩で
自然の偉大さを実感



海から上陸する金田城トレッキングを
エコミュージアムツアーと名付けた

いざ！「心を解放する旅」へ

非日常を楽しんでほしい

今年のシーカヤックフェスタは夏休みの観光をターゲットに企画しました。定員を超える応募があり、多くは初心者。あいにくのお天気ではありましたが皆さん楽しんでくださいました。

私もそうでしたが、男の子の多くは十五少年漂流記のように、無人島や漂流に憧れる時期があります。「子どもには冒険を」「若い人には達成感

西 護さん

対馬シーカヤックフェスタ実行委員
対馬観光物産協会事務局長

対馬に生まれ、以来今日まで島暮らしを続けている。趣味は探索（砲台巡りや登山・シーカヤック・海岸散策など）。対馬の自然や歴史の知識を豊富に有し、周囲からは「対馬マニア」と呼ばれている。

パソコン講師の経験もあり、島をアピールする数々のブログやホームページの立ち上げにも携わる。

を」「大人には非日常の体験を」思いつきり味わってほしいと思うんですね。都会のように観光地化されていない浅茅湾は手付かずの自然が残り、その思いを十分に味わうことができます。

週末ツアーのパターン化で

九州各地からの集客を

福岡⇄対馬のアクセスが意外と良いというのも、モニターからの意見で気づいたことです。金曜日の深夜フェリーで対馬に入り、翌日たっぷりアウトドアで癒され、次の日のフェリーで福岡へ帰る。ということ、遠いイメージの対馬も、福岡はもちろん、鹿児島や熊本からでも、十分土日で動けるっていいことなんです。観光物産協会としても、このアクセスをパターン化して集客に繋げていきたいと思っています。

モニターツアーで

ファンの拡大

対馬の魅力をもっと外にアピールしていきたいと、2009年からは九州の情報発信の拠点である福岡のアウトドアショップを対象に、モニターツアーを実施しています。実際にシヨップのスタッフさんを対馬に迎え、エコツアーを体験していただ

いているんです。

シーカヤックとトレッキングを組み合わせた体験ツアーはとても好評で、皆さんが口コミやブログ、フェイスブック等で紹介してくださると、対馬の雄大な自然の情報が広く発信されていきます。モニターツアーがご縁となり、春に続き、秋にも福岡のデパートで「対馬アウトドアフェア」が開催されることになりました。

心を解放する旅に

漕ぎ出そう

シーカヤックに初めて乗って以来、私が言い続けている言葉が「心を解放する旅」です。毎日学校会社だと、誰も日常は時間によって心が固まっています。

心を解放するという点ではシーカヤックはトレッキング以上だと感じています。「無人島でわくわく」「ちよつと怖いを越えた達成感」。時には「魏志倭人伝の頃、小舟で行きかた古に想いを馳せながらゆらゆら...」。

心を解放してくれる旅がここにはあります。

対馬観光物産協会のブログ

<http://blog.tsushima-net.org/>

『局長N』こと西さんのユニークなコメントがつつい見たくになりますよ。先日のフェスタもアップ中！

対馬にはまだまだ手つかずの大自然がたくさん残っています。でもその“魅力”を、その“偉大さ”を、対馬に住む私たちが十分に知り得ているのでしょうか？

手を伸ばせばすぐそこにある「大自然の素晴らしさ」を私たちが実感することこそ、この島を、この島の魅力を全国に広げる近道なのではないのでしょうか？